

わんぱく相撲全国大会

わんぱく相撲とは？

わんぱく相撲は、小学4年生から6年生が参加し、日本国内200地区(主催青年会議所単位)の予選大会から勝ち上がり、東京・両国国技館で決勝にあたり全国大会が開かれる、小学生対象で最大規模の相撲大会のことです。毎年4月から地区ごとの予選大会が始まります。予選大会を勝ちあげると、ブロック大会と呼ばれる都道府県代表を決める最終予選大会が開かれます(都道府県によっては開かれません)。ここで代表選手に選ばされると、東京の両国国技館、大相撲と同じ土俵の上で、各学年のトーナメント形式の取組が行われます。地方大会からの参加者は、約40,000人。まさに、日本の小学生力士の晴れ舞台なのです。

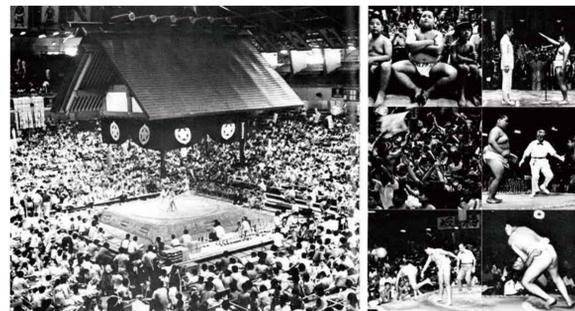


わんぱく相撲の開催意義と成果

- 「スポーツとしての相撲」を通じ、「礼」を学び、「努力すること」や「思いやり」等、社会生活に必要な徳性の涵養の場を与えられる。
- 「わんぱく相撲全国大会」を開催することで子供たちに夢を与え、励みとることができる。
- 「明るい豊かな社会」作りを目指す各地青年会議所の基本的な理念であるコミュニティ(地域 社会)の形成という重要な役割を果たすと同時に「心豊かな青少年の育成」を強力に推進することができる。
- 広く保護者並びに関係諸団体からも期待される「わんぱく相撲大会」は、地域社会に適合し、「JCの主要事業」として定着化の方向に向かっている。
- 「わんぱく相撲」は、今や全国に普及しており、社会開発運動・社会教育の一環として高く評価されている。

わんぱく相撲の歴史

「わんぱく相撲」は1976年に社団法人 東京青年会議所(当時:現公益社団法人 東京青年会議所)が実施した「東京・23区の魅力度・第2回都民生活意識調査報告書」に基づき、遊び場の少ない東京の子供達にスポーツの機会をより多く与え、心身の鍛練と健康の増進を目的として、身近に行えるスポーツである"相撲"をとりあげ、1977年に社団法人東京青年会議所が、23区全域に運動として展開したことに始まります。その後、1981年に社団法人東京青年会議所が、財団法人日本相撲協会(当時:現公益財団法人 日本相撲協会)と協力して、「わんぱく相撲の手引き」を作成のうえ、全国の市町村教育委員会並びに各地の青年会議所に無料配布し、全国への普及運動も並行して行ってまいりました。



わんぱく相撲「豆知識」トーク

前日スケジュール編

わんぱく相撲全国大会って日本中の子どもが集まるんだよね？みんな試合に出場するだけなの？

もちろん試合だけじゃないよ。毎年違う企画が行われてるから。例えば、今年のことを順を追って説明するよ。まず、今年は大前日に親子企画として2020年パラリンピックを目指しているマクナルド山本恵理さんの競技デモンストレーションと講演があったよ。

パラパワーリフティングの人だね。今年の大会スローガンの、踏み出す勇気～明日へつなげる決意の一步～とはなにか関係あるの？

山本さんは最初水泳でパラリンピックを目指していたんだけどプールサイドの怪我で断念。その後パラホッケーやパラパワーリフティングと挑戦を続けているんだよ。勇気を持って何度も立ち向かい挑戦を続けている経験とこれからも挑戦を続ける姿を話してもらったんだ。

これから、色々なことに挑戦していく子ども達にとってすごくいい経験になっただろうね。

うん、俺も勇気をもらえたよ。その後は、毎年恒例の相撲部屋宿泊だね。

相撲部屋宿泊？ホテルとかじゃなくて相撲部屋に泊まるの？？

そうだよ。毎年多くの相撲部屋が子ども達の宿泊を受け入れてくれるんだよ。

いいなー！ちゃんこも食べちゃうの？

もちろん！毎年子ども達には人気の企画なんだよ。後は、当日企画としてパラリンピックの体験コーナーがあったよ。

お、それは興味深い！試合以外にもそんなに盛り沢山なんだね。

全てを通してスローガンを実現するために運営してるんだよ。来年からはそういう視点で参加してみよう。

試合スケジュール編

わんぱく相撲全国大会っていつくらいだから地区大会みたいなのもあるの？なんかシステムが良く分からないんだよね…。

今回は、私の出身区の東京都葛飾区の場合を説明するね。

今年は、5月20日(日)にわんぱく相撲葛飾区大会が開催されたんだよ。地区大会の場合の出場学年は、1年生から6年生で葛飾区は幼児の部や団体戦の部なんかもあるんだよ。

おー結構な人数になりそうだね。どのくらいの人数になるの？

全部で400人を超えるかな。葛飾区大会の場合は、本土俵1つで試合をしているんだ。マット土俵を使ってる地区もあるみたいだね。その、4年5年6年生の男女優勝者が東京都大会に出場するんだよ。

なるほど…地区大会を勝ち抜くだけでも大変そうだね…。え？都大会？葛飾区大会の次は都大会なの？

そうなんだよ。今年の東京都大会は、6月17日(日)に第30回わんぱく相撲東京都大会西多摩場所として、羽村市のスポーツセンターで開催されたんだ。東京中の地区大会を勝ち抜いた子どもが全国大会の出場権をかけて試合を行うんだよ。

…地区大会だけじゃなく都大会を勝ち抜かなければいけないなんて…。全国大会は狭き門なんだね。

これは、東京の場合だけだね。各県も大体こんな感じだと思うよ。

全国大会の土俵に上っている子ども達の後ろには多くの子ども達がいるんだよ。多くの子ども達の期待とプレッシャーを背負っていると考えると…すごいよね。もつと応援してあげようっ！

うん、しっかりとした設備運営をしてあげようね。

…来年から頑張ります。

出身力士編

わんぱく相撲全国大会って大きな大会みたいだけど、将来力士になった出場者っているの？

たくさんいるよ。例えば、第六回東京場所4年生の部で横綱になったのが貴乃花親方なんだ！

おー!!!さすが、貴乃花親方!やっぱり子どもの頃から強かったんだね。

そうなんだよ!でも、5年生6年生の時は横綱になれなかったみたいなんだ。

わんぱく相撲…恐るべし…。他には誰がいる？

有名ところで、第9回全国大会4年生の部3回戦で琴奨菊。第12回全国大会4年生の部1回戦で豪栄道(翌年5年生横綱)。第14回全国大会6年生の部3回戦で稀勢の里。他にもたくさんいるよ。

稀勢の里が3回戦？横綱じゃないってことは優勝できなかったのか…。

やっぱり、全国の子どもが集まるって一発勝負だからね…。横綱になるのはかなり難しいと思うよ。

地区予選から一回も負けなかった子どもだけが横綱になれるのか…。地域の期待も背負ってると思うし…考えられないくらいのプレッシャーだね。

そういうプレッシャーをも跳ね除けて、自分の価値や可能性を認識し、何事にも挑戦する気持ちを抱くことを目的として今年の全国大会は開催されたんだよ。

ただの相撲大会じゃなかったんだね。出場している子ども達…すごすぎる!!

そういう目的がちゃんとあるからこそ、一戦一戦が真剣で勝敗には感動があるんだと思うよ。

やっぱりすごい大会なんだね。俺も、来年から未来の横綱を探してみようかな。

JCIと東京JC

JCIの歴史

1910年セントルイスの若い銀行員、ヘンリー・ギッセンバイヤー、Jr.は伝統的なステップのダンスの保存を目的とした団体であるハーキュレイニウム・ダンス・クラブをおこした。お酒がダンスに付きものようになってきたが、ハーキュレイニウムの会員はそういったことに反発し、お酒が用意している会場では踊らなかった。彼らは、修道院を借りてやっており、その場所は自然とミーティングの場所ともなっていた。新しい役目を認識してゆくため、ハーキュレイニウム・ダンス・クラブは1915年にその名称を「進歩的青年市民協会(YMPCA)」とした。この、協会の後援者となり、親密な関係をもつようになったのは、セントルイス商工会議所の初代会頭クラレンス・ホーワード氏である。同氏の要請により、協会の会員たち「若い市民(Junior Citizens)」と名称を変えた。これが、「JC」の最初の由来である。1918年4月11日、ギッセンバイヤーとセントルイス商工会議所に友好関係をもったJCは「若い市民」を「青年商工会議所」と命名した。1920年1月21日、似かよった団体がギッセンバイヤーのもとに集まり、セントルイス青年商工会議所が一つの協議会のもとに形成された。青年会議所の世界組織を確立することが必要だという考えは、20年代に始まり、30年代にも若干論議されたが、そのような組織が本当に必要であると理解せしめたのは、第二次世界大戦であった。戦争により国際協力の必要性が広く人々に認識されるにおよび、中南米地域において国際的な青年会議所グループの形成をめざす時期が熟したと判断した。1944年12月11日、メキシコ・シティーで開かれたインター・アメリカン会議に8か国(アメリカ・コスタリカ・エルサルバドル・グアテマラ・ホンジュラス・メキシコ・ニカラグア・パナマ)の代表が集まりJCIが誕生した。



同志と共にオープンカーに乗るヘンリー・ギッセンバイヤー(1914年)



進歩的青年市民協会YMPCAのロゴマーク
(1915年10月13日)



Junior Citizens(若い市民)の趣意書
(1916年8月14日)



日本JCのJCI加盟

1949年9月3日に総会を開き、創立された東京青年商工会議所の波は各地に広がり、各地で青年商工会議所が設立された。全国の青年商工会議所は、全国JC懇談会を開き日本青年会議所の設立の論議を始めた。そして、1951年2月9日日本青年会議所が誕生したのである。日本JCの初年度の事業の一つにJCIとの提携をかかげ、5月にモンリオールで開かれた第6回JCI世界会議に6名の代表団を派遣し、JCI正式加盟に成功したのであった。世界会議の日本代表団にとって最も印象が強烈だったのは開会式である。時のJCI会頭であるフィリピンのラモン・デル・ロザリオの冒頭演説の「…JCには国境も民族もない。それは、全世界の青年のものである。その敵国日本のJC代表団を、心からなる歓迎をもって迎えようとする…」、一面の拍手とまばゆいばかりのスポットライト、日本代表団はその光景をいまもって忘れることができないと、当時を回想したのであった。

東京JCとJCI簡易年表

歴史	年代	東京JCの動き
JCI誕生	1944年	
ポツダム宣言受諾	1945年	
日本国憲法公布	1946年	
日本国憲法施行	1947年	
	1949年	東京青年商工会議所創立
	1950年	日本青年会議所誕生
	1951年	日本JCのJCI加盟
	1952年	第2回アジア地区会議東京開催
日本の国際連合加盟	1956年	
	1957年	第12回世界会議 東京開催
日米安全保障条約調印	1960年	
東京オリンピック開催	1964年	
	1969年	メルボルンJCと姉妹締結
日本万国博覧会開催	1970年	前田博氏(東京)JCI会頭就任
沖縄返還協定調印	1971年	
札幌オリンピック開催	1972年	
日中友好条約調印	1978年	
	1981年	長尾源一氏(東京)JCI会頭就任
	1989年	ソウルJCと姉妹締結
長野オリンピック	1998年	
	2000年	マニラJCと姉妹締結
日韓ワールドカップ開催	2002年	台北JCと姉妹締結
	2010年	シナイJCと姉妹締結
	2015年	第28回国際アカデミー 東京開催
	2017年	セントラルJCと姉妹締結

公開討論会

選挙の現状

近年各種選挙における投票率は全般的に低下しています。戦後に行われた衆議院議員総選挙における投票率をみると、1946年に行われた戦後初の総選挙では、投票率は72.08%を記録していました。しかし、直近の2017年に行われた総選挙では、投票率は52.66%となっています。また東京都選挙管理委員会の「政治に関する世論調査」では10代から40代の若年・中年層の投票率が50代・それ以降の高年層と比較すると低い結果となっております。一方で選挙への関心や投票への意識は7割を超えている中、投票率の低下の要因として考えられるのは、現在の投票システムの問題、政治への不信等の側面もあるが、政治に直接触れる機会が少ない為であり、子育て世代を含む全ての市民が主権者として候補者の主張を自らの視点で比較・分析した上で思想・信条に沿った投票行動となることが求められています。

若者をターゲットとしている理由

選挙に参加する有権者の数が少ない現状では、有権者の意思が正しく政治に反映されず、世代を問わず主権者意識の向上は不可欠です。特に子育て世代については、ただでさえ少子高齢化で人口が少ない上に、若年・中年層の投票率も低いという現状を放置すれば、シルバー民主主義といわれるいびつな政治状況を招きかねません。子育て世代が投票をしっかりと行う事でその子供たちは幼い頃から政治を身近に感じる環境ができ、投票行動に繋がるといふ第三者機関の調査結果からも、子育て世代だけではなく次世代の政治参画意識と主権者意識の向上にも繋がります。そして、市民の政治参画意識が向上する事で、市民自らが選んだ政治家の活動を監視し、自ずと政治家の行動も変化することとなるでしょう。その継続こそが政治の質が上がることに繋がっていきます。



公開討論会を行う意義

公益社団法人東京青年会議所は、2000年以来、国民の皆様が政治に関心を持てるようにする土壌を創ることを目的に、東京23区内で行われる選挙があるたびに公開討論会を開催して参りました。それは当会議所が公益社団法人として「明るい豊かな社会」を築くためには、市民一人ひとりが政治に意欲的に参加することが重要であり、公開討論会はそれを促すうえで有用な方法であると考えているからです。

2017年10月開催 衆議院公開討論会

昨年の衆議院議員総選挙では公示日後のネット型公開討論会を実施し、東京23区内の17選挙区のうち、前回は大きく上回る15選挙区(名称使用を含む)で公開討論会を開催いたしました。

選挙区	開催日	開催地域	開催場所
第1区	10月13日	千代田区・港区・新宿区	青年会議所会館402
第2区	10月13日	中央区・港区・文京区・台東区	京橋区民会館第1号洋室
第3区	10月14日	品川区・大田区	プラザ・アヘア
第4区	10月14日	大田区	プラザ・アヘア
第5区	10月13日	目黒区・世田谷区	男女共同参画センター(開催中止)
第6区	10月13日	世田谷区	男女共同参画センター
第7区	10月13日	品川区・目黒区・渋谷区・中野区	LEC中野本校1階
第8区	10月13日	杉並区	LEC中野本校2階
第9区	10月13日	練馬区	練馬産業会館
第10区	10月13日	新宿区・中野区・豊島区・練馬区	IKE・Bizとしま産業振興プラザ
第11区			
第12区	10月13日	豊島区・北区・板橋区・足立区	正光寺(開催中止)
第13区	10月13日	足立区	東京芸術センター
第14区	10月14日	台東区・墨田区・荒川区	東武ホテルレバント東京
第15区	10月14日	江東区	東武ホテルレバント東京
第16区	10月13日	江戸川区	タワーホール船堀
第17区	10月13日	葛飾区・江戸川区	東京和晒

新日本の再建は我々青年の仕事である

設立趣意書より

1949/9/3東京青年会議所発足 設立趣意書

「新日本の再建は我々青年の仕事である。更めて述べる迄もなく今日の日本の実情は極めて苦難に満ちている。この苦難を打開してゆくため採るべき途は先ず国内経済の充実であり、国際経済との密接なる提携である。その任務の大半を負っている我々青年はあらゆる機会をとらえて互に団結し自らの修養に努めなければならぬと信ずる。既に欧米の各地においては青年商工会議所が設立せられ、一九四六年にはこれらの世界的連絡機関としての国際青年商工会議所さえ設置せられておる。われわれはこれ等の国際機関との連繋は素より、青年の持つ熱と力を以って産業経済の実勢を究め、常に認識を新たにして、その責務の達成を期したい。ここに政治経済の中心地、東京に在る我々青年はその使命の極めて重大なるを思い、同志相寄り東京青年商工会議所の設立を企図した次第である。」(原文のまま)



東京青年商工会議所創立総会(1949.9.3)

自分で活動するプロセスのなかに トレーニングがあると 考えるべきである

「青年会議所運動の本質議所会報第二号所収」より



JC活動紹介

1、わんぱく相撲

「わんぱく相撲」は遊び場の少ない東京の子供達にスポーツの機会をより多く与え、心身の鍛錬と健康の増進を目的として、1977年の第1回東京都大会から23区域の運動、そして、全国での運動として展開しています。

2、緑の泉

1969年9月、皇居東御苑に東京青年会議所創立20周年を記念し、記念造形物「緑の泉」の除幕通水式が行われました。現在では都民や観光客の憩いの泉として親しまれております。

3、復興支援

2011年3月11日、東日本大震災に伴う津波や余震により甚大な被害がもたらされました。我々はone for all, all for oneの精神に基づき、次世代を考える事が日本の最大の資源である人を創り、更には国創りへと発展すると信じ努力惜しまず行動し続けて参ります。

4、公開討論会

衆議院、参議院議員選挙、知事選挙、区長選挙などに先立って、これらの選挙に立候補を予定している方々に選挙期間前に参加していただき国政、都政、区政の抱える問題点についての政策や具体的な解決策などを聞く会です。

5、小松川運動

「手をあげて横断歩道を渡りましょう」という有名な標語は、1958年の東京JC小松川交通安全会議から全国に発信され、急速に広がりをもせ、全国的な交通安全運動に発展しました。

世界に広がるJCIのネットワーク

東京青年会議所(東京JC)は、東京23区活動地域とした地区青年会議所(LOM:Local Organization Member)です。現在約700名の会員が所属し、首都LOMとし世界の青年会議所とも交流を深めつつ、広い視野を持った活動を続けています。設立は1949年。戦後の混沌とした東京で日本初の青年会議所として産声をあげ、その志が全国に飛び火しました。現在、全国に約700の地域LOMがあり、その連携・連絡調整機関として47都道府県のブロック協議会があります。さらに、ブロック協議会をまとめる10の地区協議会、そして日本青年会議所(日本JC)が組織されています。日本JCでは、そのメンバーとして約3万8000人が活動しています。



会議場の旧商工会議所ビルの前立つ各国代表

JC運動三原則

Training
(個人の修練)

Service
(社会への奉仕)

Friendship
(世界との友情)

青年会議所出身の著名人

国内

麻生 太郎	飯塚JC	第9代内閣総理大臣
石川 六郎	東京JC	鹿島建設元名誉会長他
石原 伸晃	東京JC	衆議院議員
九代目 市川 團藏	東京JC	歌舞伎役者他
伊藤 次郎左衛門	名古屋JC	伊藤財閥第15代目当主他
稲尾 和久	福岡JC	元プロ野球選手
岩波 雄二郎	東京JC	岩波書店元会長
牛尾 治朗	東京JC	ウシオ電機創業者
小淵 恵三	群馬JC	第84代内閣総理大臣
菅 直人	東京JC	第94代内閣総理大臣
黒川 光朝	東京JC	虎屋第16代当主
小泉 純一郎	東京JC	第87-89代内閣総理大臣
鴻池 祥肇	尼崎JC	衆議院議員
四代目 坂田 藤十郎	東京JC	歌舞伎役者人間国宝他

佐治 敬三	大阪JC	二代目サントリー会長
千 安室	京都JC	茶道裏千家15代家元
平 将明	東京JC	衆議院議員
堤 清二	東京JC	セゾングループ代表
島井 信一郎	大阪JC	三代目サントリー会長
中曾根 康弘	高崎JC	第71-73代内閣総理大臣
服部 禮次郎	東京JC	セイコーホールディングス元常務会長
鳩山 由紀夫	室蘭JC	第93代内閣総理大臣
藤原 雄	福岡JC	陶芸家人間国宝
堀越 善雄	東京JC	丸文元名誉会長
三輪 善兵衛	東京JC	ミツワ本舗元会長
森 喜朗	東京JC	森ビル元会長
森 喜朗	小松JC	第85-86代内閣総理大臣
柴田 次郎	東京JC	ヤナセ元会長
山本 忠造	東京JC	山本海苔店元会長

海外

アルベール2世	モナコ公国	モナコ大公
コフィー・アナン	ガーナ共和国	元国際連合事務総長
ジャック・ルネ・シラク	フランス	元大統領
ジョセフ・エストラーダ	フィリピン	元大統領
ジョン・F・ケネディ	アメリカ合衆国	元大統領
チャールズ・リンドバーグ	アメリカ合衆国	飛行家
トーマス・S・モナハン	アメリカ合衆国	ドミノピザ創業者
ハビエル・ペレス・デ・クエルヤ	ペルー	元大統領
ハワード・ヒューズ	アメリカ合衆国	大富豪
ビル・クリントン	アメリカ合衆国	元大統領
ビル・ゲイツ	アメリカ合衆国	マイクロソフト創業者
ラリー・バード	アメリカ合衆国	元NBAプロバスケットボール選手
ラリー・ホームズ	アメリカ合衆国	元プロボクシングヘビー級チャンピオン
リチャード・ニクソン	アメリカ合衆国	元大統領
ロナルド・レーガン	アメリカ合衆国	元大統領



Junior Chamber International Tokyo
公益社団法人 東京青年会議所

社会的責任をつねに感ずる人々が

団結によって力を発揮し、
社会的な力を
確立することを目的としている

「青年会議所運動の本質議所会報第二号所収」より

東京青年会議所

70年の歩み

1949

1949年9月3日 東京青年会議所設立

創成記 1949/9/3～1954/6/30

確立期 1954/7/1～1957/12/31

充実期 1958/1/1～1961/12/31

展開期 1962/1/1～1966/12/31

飛躍期 1967/1/1～1969/12/31

拡大期 1970/1/1～1974/12/31

発展期 1975/1/1～1978/12/31

伸長期 1979/1/1～1983/12/31

拡充期 1984/1/1～1989/12/31

成熟期 1990/1/1～1994/12/31

革新期 1995/1/1～2004/12/31

2018

現代期 2005/1/1～



Junior Chamber International Tokyo
公益社団法人 東京青年会議所

年表・歴代理事長



初代(1949)
三輪 善兵衛
(6代日本JC会頭)
正会員数:48名



2代(1950)
黒川 光朝
(初代日本JC会頭)
正会員数:67名



3代(1951)
小坂 俊雄
(2代日本JC会頭)
正会員数:101名



4代(1952)
堀越 善雄
(3代日本JC会頭)
正会員数:145名



5代(1953)
服部 礼次郎
(4代日本JC会頭)
正会員数:160名



6代(1954)
山本 恵造
(5代日本JC会頭)
正会員数:170名



7代(1955-56)
丸 晋
正会員数:170名('55) 正会員数:186名('56)
特別会員数:1名('55) 特別会員数:4名('56)



8代(1957)
山崎 富治
(10代日本JC会頭)
正会員数:210名 特別会員数:6名



9代(1958)
小林 敦
正会員数:260名 特別会員数:13名



10代(1959)
広海 泰三
正会員数:258名 特別会員数:26名



11代(1960)
瀬味 保城
(12代日本JC会頭)
正会員数:288名 特別会員数:36名



12代(1961)
芦沢 新二
正会員数:341名 特別会員数:61名



13代(1962)
小菅 茂彌
正会員数:384名 特別会員数:73名



14代(1963)
宮入 正則
正会員数:411名 特別会員数:93名



15代(1964)
林 正久
正会員数:428名 特別会員数:115名



16代(1965)
柳澤 昭
(16代日本JC会頭)
正会員数:452名 特別会員数:145名



17代(1966)
鈴木 敬夫
正会員数:440名 特別会員数:174名



18代(1967)
牛尾 治朗
(18代日本JC会頭)
正会員数:437名 特別会員数:200名



19代(1968)
松本 誠也
正会員数:458名 特別会員数:232名



20代(1969)
中村 和正
正会員数:569名 特別会員数:261名



21代(1970)
新田 満夫
正会員数:645名 特別会員数:305名



22代(1971)
村山 好弘
正会員数:686名 特別会員数:361名



23代(1972)
前田 完治
(23代日本JC会頭)
正会員数:704名 特別会員数:408名



24代(1973)
山崎 至朗
正会員数:802名 特別会員数:471名



25代(1974)
奥山 忠
正会員数:918名 特別会員数:533名



26代(1975)
浅地 正一
正会員数:1030名 特別会員数:608名



27代(1976)
池田 彰孝
正会員数:1104名 特別会員数:691名



28代(1977)
榎田 新太郎
正会員数:1101名 特別会員数:767名



29代(1978)
辰野 克彦
正会員数:1106名 特別会員数:847名



30代(1979)
水野 毅一
正会員数:1134名 特別会員数:922名



31代(1980)
黒川 光博
(31代日本JC会頭)
正会員数:1176名 特別会員数:1023名



32代(1981)
勝亦 復之
正会員数:1151名 特別会員数:1039名



33代(1982)
木村 周正
正会員数:1222名 特別会員数:1173名



34代(1983)
小島 陽一郎
正会員数:1192名 特別会員数:1293名

1949

東京青年商工会議所設立

商工会議所法の制定により東京青年会議所と改称

1949



1950

日本青年会議所設立 (設立時10青年会議所)

1951



日本青年会議所発会式。挨拶する初代会議所長黒川光朝氏(1951.2.9)

1958

「手を挙げて横断歩道を渡りましょう」の運動を拡大
(小松川交通安全会議への継続)



1960

社団法人の許可を受ける
(民法第34条に規定された公益法人)

1964

厚生大臣よりパラリンピック協力により感謝状受賞



1966

山中湖肢体不自由児キャンプ訪問
(フレンドシップキャンプに発展・継続)

1973

ラブリバー・フェスティバル清掃大会(二子玉川緑地公園)



1974

中国青年訪日団交歓会
(日中青年経済人文化交流へ発展・継続)

1977

第1回わんぱく相撲東京都大会



1983



Junior Chamber International Tokyo
公益社団法人 東京青年会議所

年表・歴代理事長

- 35代(1984)
小坂 俊幸
正会員数:1170名 特別会員数:1424名
- 36代(1985)
服部 仁基
服部 仁基(故)
正会員数:1221名 特別会員数:1527名
- 37代(1986)
山本 泰人
山本 泰人
正会員数:1306名 特別会員数:1620名
※“泰”の字は、“巻”の“己”の部首が“水”です。
- 38代(1987)
渡辺 佳英
渡辺 佳英
正会員数:1357名 特別会員数:1721名
- 39代(1988)
和田 光司
和田 光司
正会員数:1344名 特別会員数:1802名
- 40代(1989)
阿部 芳三
阿部 義和
正会員数:1422名 特別会員数:2020名
- 41代(1990)
田中 常雄
田中 常雄
正会員数:1361名 特別会員数:2160名
- 42代(1991)
小林 元治
小林 元治
正会員数:1329名 特別会員数:2314名
- 43代(1992)
中村 節雄
中村 節雄
正会員数:1263名 特別会員数:2336名
- 44代(1993)
島影 幸有
島影 幸有
正会員数:1180名 特別会員数:2441名
- 45代(1994)
廣川 隆一
廣川 隆一
正会員数:1083名 特別会員数:2550名
- 46代(1995)
大島 博
大島 博
正会員数:1053名 特別会員数:2654名
- 47代(1996)
枝見 太郎
枝見 太郎
正会員数:1044名 特別会員数:2717名
- 48代(1997)
佐藤 康雄
佐藤 康雄
正会員数:1023名 特別会員数:2788名
- 49代(1998)
長谷部 亮平
長谷部 亮平
正会員数:1008名 特別会員数:2780名
- 50代(1999)
馬場 章夫
馬場 章夫
正会員数:923名 特別会員数:2853名
- 51代(2000)
渡邊 哲雄
渡邊 哲雄
正会員数:834名 特別会員数:2907名
- 52代(2001)
堀澤 好久
堀澤 好久
正会員数:772名 特別会員数:3082名
- 53代(2002)
西野 克透
西野 克透
正会員数:742名 特別会員数:3149名
- 54代(2003)
平 将明
平 将明
正会員数:711名 特別会員数:3218名
- 55代(2004)
古谷 真一郎
古谷 真一郎
正会員数:693名 特別会員数:3290名
- 56代(2005)
西村 剛敏
西村 剛敏
正会員数:667名 特別会員数:3360名
- 57代(2006)
高橋 克之
高橋 克之
正会員数:637名 特別会員数:3292名
- 58代(2007)
松本 直勝
松本 直勝
正会員数:597名 特別会員数:3313名
- 59代(2008)
相澤 弥一郎
相澤 弥一郎(59代日本JC会頭)
正会員数:601名 特別会員数:3346名
- 60代(2009)
梅野 慶太
梅野 慶太
正会員数:597名 特別会員数:3378名
- 61代(2010)
安藤 公一
安藤 公一
正会員数:556名 特別会員数:3391名
- 62代(2011)
奥山 卓
奥山 卓
正会員数:573名 特別会員数:3426名
- 63代(2012)
屋間 太郎
屋間 太郎
正会員数:568名 特別会員数:3469名
- 64代(2013)
笹島 満也
笹島 満也
正会員数:552名 特別会員数:3503名
- 65代(2014)
菅原 敬介
菅原 敬介
正会員数:541名 特別会員数:3538名
- 66代(2015)
中村 豪志
中村 豪志
正会員数:550名 特別会員数:3571名
- 67代(2016)
中原 修二郎
中原 修二郎
正会員数:594名 特別会員数:3600名
- 68代(2017)
波多野 麻美
波多野 麻美
正会員数:626名 特別会員数:3625名
- 69代(2018)
石川 和孝
石川 和孝
正会員数:746名 特別会員数:3678名
(2018年8月29日現在)

1984

障害者テニス大会

1988

第10回桜門杯争奪全国学生弁論大会

1991

環境を考える地球市民フォーラム

1994

公開討論会初開催

1998

脐帯血に関わる医療材料に対する保険適用を求める講師支援

1999

都議・区長・参議院議員選挙の公開討論会

2001

東京JC学校講師派遣システムの運用を開始

2004

ハッシン！環境ガバナンス2007

2007

公開討論会 2.0 (WEB選挙公開)

2010

東日本大震災の復興を想い
復興支援事業を続行

2012

第5回都民意識調査の実施

2016

2018



Junior Chamber International Tokyo
公益社団法人 東京青年会議所